

近畿地方整備局
資料配布

配布	平成 27 年 3 月 9 日 18 時 00 分
----	------------------------------

件名	海面清掃兼油回収船「クリーンはりま」の回収作業の終了
----	----------------------------

概要	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 27 年 3 月 9 日（月）午前 7 時過ぎ、大阪府浜寺航路西側海域を通航していた船舶からの通報を受け、第五管区海上保安部が浮遊油を確認いたしました。浮遊油は長さ 1,600m、幅 100m 程度に広がっているとのこと。（13 時に既配布） ●国土交通省近畿地方整備局では、海面清掃兼油回収船「クリーンはりま」を緊急出動させ、本日午前 11 時 30 分より油回収作業を開始しました。 ●12 時 45 分頃、強風のため油回収作業が困難になったので、「クリーンはりま」は放水拡散作業に切り替えました。また、当局所属の海面清掃兼油回収船「Dr. 海洋」が同時刻、現地に到着し、放水拡散を開始しました。海上保安部や大阪府の船舶と共に作業を行い、15 時に、海上保安部が油が概ね消散したのを確認し、全船の作業を終了しました。「クリーンはりま」の回収量は油水で 1.4m³ でした。
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 神戸海運記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ
------	--

問合せ先	<ul style="list-style-type: none"> ■国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 河崎 和文、課長補佐 岡本 有司 TEL. 078-391-3103 ■国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 事業継続計画官 高岡 佳輝、課長 松井 善樹 TEL. 078-391-3101
------	---

近畿地方整備局による大阪湾に浮遊した油の回収作業

○平成27年3月9日(月)、大阪府浜寺航路西側海域で確認された浮遊した油に対応するため、海面清掃兼油回収船「クリーンはりま」と「Dr.海洋(ドクターかいよう)」(共に近畿地方整備局所属)が緊急出動。

○油水を約1.4^m回収したのち、放水銃で、海面上にある油膜をかく拌(放水拡散)。

10時10分: 第五管区海上保安本部が近畿地方整備局に対し、海洋汚染の防除処置を要請。

11時30分: 「クリーンはりま」が現地に到着し、油回収作業を開始。 ※回収量 約1.4^m (ドラム缶7本分に相当)

12時45分: 「Dr.海洋」が現地に到着し、放水拡散作業を開始。「クリーンはりま」も放水拡散作業に切り替え。

15時00分: 油がほぼ消失したことから、両船は作業を終了。

浮遊した油の範囲



「クリーンはりま」の概要(197総トン)

建造年月: 平成25年2月
乗組員数: 7名
全長: 33.65m
速力: 14.2ノット(最大)[時速約27km]
回収能力: 8.3^m×2槽、10^m/h(ポンプ)



「Dr.海洋」の概要(196総トン)

建造年月: 平成19年3月
乗組員数: 7名
全長: 33.5m
速力: 15.4ノット(最大)[時速約28km]
回収能力: 20.75^m×2槽、30^m/h(ポンプ)



作業状況



油漂流シミュレーションを実施した結果、放置しておくと明朝未明に貝塚沿岸に漂着するとの予想が得られた。【データ提供： 港湾空港技術研究所 油濁対策研究チーム】
整備局の回収作業が、被害の拡大を未然に防いだと考えられる。

